

一般質問

定例会では、提案された議案に係らず、市長や関係する理事者に対し、市政全般にわたり質問することができま

入札制度について

問 入札制度に関しては、五
條市は独自の方法をとって
おり、落札までには相当の
歩切りがある。五條市の制
度と違って、国の入札制度は、
設計金額から十五％を切っ
たら駄目ですよという指針
であり、五條市は、設計金
額から、歩切りということ
で、最初に五％切って、更に十
五％切ったものを百として、
それから、九四％から九六
％でくじ引きをしている。
これが、五條市のやり方
である。

業者は、仕方なしに、精
一杯頑張ってやっているが、
こういうやり方を基準から
見直さないと、五條の業者
がいなくなってしまう。

答（市長） 今までうわさ
があったことも、是正もし
ながらやっていきたい。

川端の五号線について

問 市長は、現在公社の土地
を道路として使っている道
を閉めるということであるが、
それはなぜか。市長自らが
川端へ行き、「そこは閉め
るので、迂回路はこうなる」

という自ら作ったビラを直
接民家に配ったというが、
今田興業のダンブはどうす
るのか。幅十六メートル、厚
さ十センチの舗装とは、一
体何をするつもりなのか。
国道でも八メートルしか
ないので、地元がびっくりして、
集会を持ち、そんな広い道
路は要らないとなった。

一年以上公の人が通った
ら閉鎖できないと、民法に
は載っている。あの道路は
閉鎖できないのではないか。

答（市長） 地元の要望に
より「必要ない」というこ
とで、否決された以上、あ
の迂回路は速やかに閉める
べきだということを地元に
も説明した。

一年通っていたら閉めら
れないということの方が、う
わさ話ではないのか。

北宇智工業団地について

問 進ちょく状況と今後の見
とおしについて。

答（生活産業部長） 平成
十五年に完了検査を受け、
平成二十年四月から（株）ユ
テックが操業を開始してい

るが、大和ハウス工業の関
連工場の移転先ということで、
当初の計画に変更はない。
今後も企業の早期立地を働
きかけてまいりたい。

公共下水道事業等について

問 五條市の水をきれいにす
るために大切な公共下水道
への接続状況と、合併浄化
槽の普及率について。

答（上下水道部長） 公共
下水道事業の全体計画は一、
八六五ヘクタールで、事業
認可面積が七三二ヘクタール、
供用開始済み面積は四五五
ヘクタールとなっている。
普及率は五五・二％、水洗
化率は六六・八％となつて
いる。

答（生活産業部長） 合併
浄化槽は、昨年度末で九二
二基で、今年度の補助金は、
五十基に対して一、九四五
千円を予定している。

答（市長） 環境がいかに
大切かということを肝に銘
じて頑張っていきたい。

新型インフルエンザ対策

問 市内で新型インフルエン
ザが発生したときの五條市
の対応について。

答（健康福祉部長） 平成
十一年に感染症対策委員会
を設置し、今年度も協議し

たところである。本市の課
題を整理して、対応マニ
ュアルを作成し、市民の安全
確保に努めてまいりたい。

消防本部次長

答（消防本部次長） 感染
防護の資機材を整備すると
ともに、隊員が感染したと
きの業務継続計画の作成を
準備中である。

学校教育について

問 本年（平成二十年）四月、
五條中学校の第一学年及び
第三学年において、始業式
の四月八日から四月二十八
日までの二十一日間数学の
先生がおらず、その間数学
の授業が行われなかったと
聞いた。その結果、中一の
数学の授業は五十分の授業
時間内に、多い日には十一
ページも進んだ日もあり、ノ
ートを取る時間もなく、い
まだに数学がよくわからな
い生徒がいるそうである。

数学の先生が不在の間、例
えば、二年生の数学の先生
が教えるとか、他の学校の
数学の先生に応援を頼むとか、
教育委員会から応援に行く
とか、何らかの対応ができ
なかったのか。

答（教育部長） 教職員の
配置については奈良県教育
委員会が行っており、授業
を行うに当たっては、まず、
その科目の教員免許証、当
該学校への辞令がなければ

担当することができない。

問 一年生で数学がわからな
くなれば、その後ずっと三
年間、数学の授業の理解は
困難になる。五條市において、
今後こういうことが二度と
起こらないように、教育委
員会にはしっかりとした対
応をしていただかなくては
ならない。

来年度の中学校教員の人事
異動に向けての、市の取
組をお尋ねしたい。

答（教育部長） 今回のこ
とにより、奈良県教育委員
会は平成二十一年度の人事
については、確定生徒数及び
教員数の臨時配置を例年よ
り二箇月早め、今後このよ
うな事態が起こらないよう
な対策を講じている。また、
今後も五條市教育委員会か
らこのような事態を招くこ
とのないよう、強く要望
してまいりたい。

交通刑務所誘致構想の撤回について

問 吉野市長は、九月議会の
議会運営委員会において、
法務省として、今のところ
新しい交通刑務所の計画は
ないことを確認の上、交通
刑務所を誘致したいと表明
したが、五條市長としては、
刑務所誘致より、犯罪の防
止に全力を挙げなくては
いけないのではないか。

市長として直接責任のあ
る犯罪防止は、市が発注す
る公共事業や業務に絡む汚職、
犯罪の防止等である。また、
市内での殺人、強盗、詐欺
犯罪防止にも全力を挙げ、
現刑務所に空き部屋ができ
る方向を目指すべきではな
いか。

答（市長） 今は充足して
いるが、将来に向かって、
今までと違う収容所の矯正
施設を考えている。

五條病院の産科の復活及び医療の充実について

問 五條病院の産科が平成十
八年四月になくなったが、
五條市民のお産の状況を平
成十九年の統計で明らかに
すると、橋本市でお産され
た人が一五六人、奈良県内
では三七人、奈良県外では
十三人で、計二〇六人であ
った。

五條病院の医師の状況は、
定数三四人に対し二十人と
いう状況である。

全国的には、いったん医師、
看護師になっても、勤務状
況が厳しいために辞めると
いう状況も続いており、国
及び県に対し、医療費と医師、
看護師の確保についての要
請を強く続けるべきではな
いか。

答（健康福祉部長） 県に
対して強く要望している。